


とやまエコ・ストア制度登録店の取組み実績（令和2年度）

上記の取組み（1レジ袋無料配布廃止、2資源物の回収、3低炭素化の取組み）により、次のような効果が得られると推計されます。（[]内：元年度との比較）


① ごみ排出削減量

2,134 t [+849]	(レジ袋の削減量)	
・富山県内のごみ総排出量（420,443t（H30））の0.5%分に相当		


② リサイクル量

3,212 t [-295]	(資源物の回収量)	
・富山県内のリサイクル量（112,312 t（H30））の2.9%分に相当		

③ 最終処分（埋立）削減量

604 t [+56]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量から、これら进行处理したときに発生する焼却灰や不燃物の量を推計)	
・最終処分量（38,290 t（H30））の1.4%分に相当		


④ CO₂削減量

36,850 t-CO₂^{*1} [+5,380]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)	
●富山県の約7,000世帯分の年間CO ₂ 排出量に相当 ^{*2} ●県民1人当たり年間35.8[kg-CO ₂]の削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間88.9[kg-CO ₂]の削減量に相当		

※1 富山県内の民生業務部門のCO₂排出量（1,613[千t-CO₂]（H30））の2.2%分に相当

※2 1世帯の年間CO₂排出量を5.26[t-CO₂/年]（H30 富山県推計）として推計

⑤ 原油削減量

12,459 kl^{*1} [+1,699]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)	
県民1人当たり年間12.1[l]の原油削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間30.0[l]のガソリン削減量に相当 ^{*2}		

※1 ドラム缶 6.2[万本]に相当

※2 原油が全てガソリンに精製されると仮定

県民の皆さんと事業者の皆さんとの協働の取組みは、ひとつひとつは小さな行動ですが、これが輪となって広がって、大きな効果を生みます。
お店とのエコ活動をきっかけに、家庭や職場でもエコライフの実践を“あたりまえ”にしましょう！

